

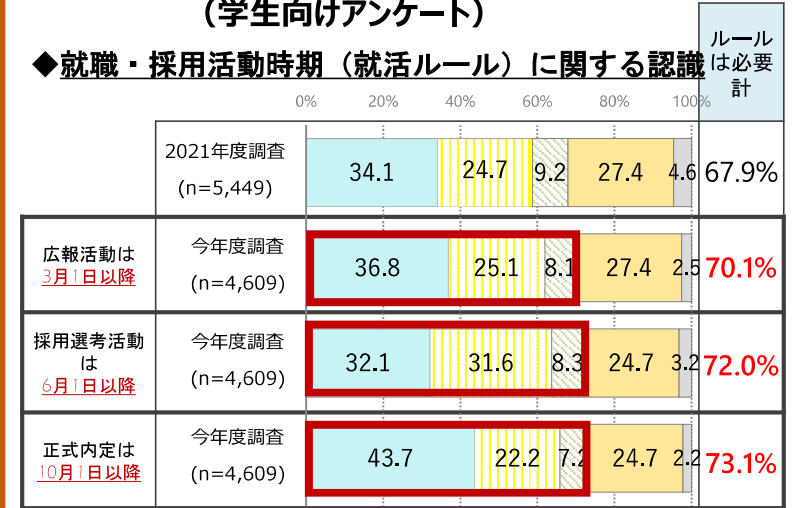
2024年度卒業・修了予定者の就職・採用活動日程に関する考え方 ポイント

就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議決定（令和4年11月30日）
 〔内閣官房・文部科学省 厚生労働省・経済産業省〕

- 学生が学修時間を確保しながら安心して就職活動に取り組めることが重要。
- 経済団体及び学生向け調査では、就活ルールが必要との回答が7割に上り、就活ルールが一定の役割。
- 今年度末の卒業・修了予定者の就職・採用活動は、企業説明会等の参加のピークを9月以前と回答した者の割合が上昇するなど、早期化がやや進行。外資系企業の内々定は、国内企業に比べて早い傾向。
- 本年4月、日本経済団体連合会と大学関係団体等の代表者により構成される産学協議会は、インターンシップ等を類型化し、2024年度末卒業・修了予定者を対象に、一定の条件※を満たしたものについて、採用活動で学生情報を活用できることを公表。それを受け、政府もインターンシップ等の取扱いに関する合意（3省合意）を改正。学生のキャリア形成支援の充実を通じて、学生のキャリア形成や企業とのマッチング促進など、学生・企業の双方にメリットのあるインターンシップが行われることを強く期待。
※就業体験要件、指導要件、実施期間要件、実施時期要件、情報開示要件の5つを満たすもの
- 2024年度末卒業・修了予定者（現2年生/学部4年生）については、従来と同じ広報活動3月・採用選考活動6月・正式内定10月という就活ルールの遵守等を本年度末を目途に要請予定。
- 2025年度末卒業・修了予定者（現1年生/学部3年生）については、引き続き経済界や大学側とも対話しながら、関係省庁において検討。学生の学修時間の確保に十分留意しつつ、通年採用・経験者採用の拡大など企業における採用・キャリアパスの多様化・複線化の進展、専門性の高い人材や留学生など多様な人材の活躍推進の観点、質の高いインターンシップの実施とその活用による、学生のキャリア形成支援の充実や企業とのマッチング促進などに資する観点なども踏まえながら、専門性の高い人材に関する採用日程の弾力化を含め、速やかに検討。

学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査（学生向けアンケート）

◆就職・採用活動時期（就活ルール）に関する認識



- ルールは必要であり、現在の開始時期がよい
- ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい
- ルールは必要だが、現在の開始時期より遅い方がよい

◆採用を目的とした企業説明会等への参加

2021年 2022年
 9月以前をピークとした回答割合 3.6% → 7.7%に増加

◆内々定を受けた時期（就職予定企業）

